

計画詳細版

施策の展開

方針１ 誰一人取り残さない令和の日本型教育を推進し、
社会の創り手となることができるような資質・能力を
育成します

施策（１） リーディングスキル(R S)等の理解に基づく基礎学力の向上に
取り組みます

主な取組

重点取組	内容	関係部署
R S等の理解に基づき、学力の向上	授業づくりにおいて、「学力向上プラン」や市内外の様々な事例に学ぶ機会を有効活用しながら、自校の取組の見直し・改善に努め、新しい時代に求められる資質・能力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を行います。 また、すべての教科等で、リーディングスキルの視点を取り入れつつ、学習の基盤となる言語能力及び情報活用能力を学校全体で育成します。 さらに、学校ならではの児童生徒同士の学び合いや、多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする探究的な学びを推進します。	指導課
一人ひとりの子どもの特性や成長を見通した支援のサポートができる体制の強化	支援学級や通級による指導における特別の教育課程の編成について、一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに応じた適切なものとなるよう努めます。	指導課
	子ども本人や保護者の想いを受け止め、児童生徒の障がいの状況や生活上・学習上の困難さに応じた指導内容や指導方法・支援方法の工夫を行い、通常学級や学校生活での合理的配慮の検討、提供に努めます。	指導課

施策（２） デジタル教育、英語教育を推進し、これからの社会を生き抜く力を育てます

主な取組

重点取組	内容	関係部署
学校内外にかかわらず子どもの学習深度に応じた学びを提供するためのＩＣＴの積極的活用、デジタルシティズンシップ教育の推進	<p>１人１台端末・ＩＣＴを日常的かつ効果的に活用した授業と家庭学習の推進を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図り、「学習者主体の学び」となるよう活用を促進します。</p> <p>また、１人１台端末の積極的な活用実態から、将来的に子どもたちがデジタルシティズンシップを獲得することを見据え、情報モラル教育の充実を図ります。</p>	指導課
いつでも英語ネイティブから学べる英語教育の推進	<p>英語専科教員や各校に配置した常駐のＡＬＴを効果的に活用しながら、児童生徒が言語活動を通して英語でコミュニケーションを図る資質・能力をはぐくむことができるよう、カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえ教科等横断的な英語教育を促進します。</p> <p>また、児童生徒が授業外でも英語に触れる機会の創出や、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確にしたゴール設定の充実をはじめ、教職員の指導力向上に努めます。</p>	指導課

施策（３） 子どもの１５年トータルを見通した教育を推進します

主な取組

重点取組	内容	関係部署
子どもの１５年トータルを見通す幼保認小中の連携	<p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮しながら活動内容を工夫し、指導の充実努めます。また、幼保認小中の教員が連携し、子どもたちにはぐくみたい資質・能力を中心に据えた「いちご架け橋研究委員会」や各種学区での小中連携会議等において相互理解と実践を深めるよう努め、架け橋期の教育の充実を図ります。</p>	指導課 こども育成課

方針２ 多様な子どもが地域とともに健やかに育つ教育を推進します

施策（１） 一人ひとりの豊かな心や身体を育てる教育を推進します

主な取組

重点取組	内容	関係部署
人権問題に気づき解決につなげられる、教員、児童生徒の人権意識・人権感覚の向上	あらゆる教育活動を通して、生命の尊さと自他を認め合う気持ちの醸成に努めるとともに、決して差別を許さない人権意識を持った児童生徒の育成をめざします。 また、外国籍の児童生徒の就学機会の確保、性の多様性への対応など、現在の諸課題についても適切に対応していきます。	指導課
未来（子どもたち）をはぐくむ独自給食の推進	学校と就学前施設における給食に有機食材を使用するなど、安全・安心な食材を増やして、子どもたちの未来をはぐくむ給食を提供し、食に対する関心と、健康づくりに対する主体的な姿勢をはぐくみます。	指導課 教育政策課

施策（２） 障がいのある子どもと様々な支援が必要な子どもがともに学び、互いに学び合う教育をめざします

主な取組

重点取組	内容	関係部署
一人ひとりの子どもの特性や成長を見通した支援のサポートができる体制の強化【再掲】	支援学級や通級による指導における特別の教育課程の編成について、一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに応じた適切なものとなるよう努めます。	指導課
	子ども本人や保護者の想いを受け止め、児童生徒の障がいの状況や生活上・学習上の困難さに応じた指導内容や指導方法・支援方法の工夫を行い、通常の学級や学校生活での合理的配慮の検討、提供に努めます。	指導課

施策（３） 子ども一人ひとりに向き合い、チームで支える体制をつくります

主な取組

重点取組	内容	関係部署
不登校・不登校傾向のある児童生徒の状況に応じた学びを止めない多様な取組の推進	<p>「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」で求められている全児童生徒を対象とした居場所づくりや絆づくり、未然防止の取組の充実を図るとともに、不登校の兆しのある児童生徒の早期発見・早期対応に努めます。</p> <p>また、不登校への対応については、学びにアクセスできない子どもをなくすため、専門家や関係機関との連携を図り、校内教育支援ルームの設置、ＩＣＴの活用など、個別の状況に応じた支援の充実に努めます。</p>	指導課
「チーム学校」による生徒指導上の課題の早期発見・早期対応	<p>あらゆる機会を通じて、日頃から児童生徒の状況把握を行い、生徒指導上の課題の早期発見に努め、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも情報共有し、専門家のアセスメントも含めたチームによる早期対応に努めます。また、いじめ防止相談ツール等を活用したいじめの早期発見、早期対応に努めます。</p>	指導課
「家庭教育支援サポーター」を活用した、子ども・保護者へのエンパワーメント	<p>子育てに悩みや不安をかかえる保護者に対して、地域人材を活用した家庭教育支援サポーター（家庭訪問型と学校園所配置型）を効果的に活用するなど、保護者のエンパワーメントを図ることをはじめ、早期支援・早期対応に努めます。</p> <p>また、「親学習」講座の実施など、保護者に学習機会の提供を積極的に行います。</p>	指導課

方針3 子どもが豊かな学びを継続できる学校環境を向上させます

施策（１） 各学校の特色ある学校づくりを推進します

主な取組

重点取組	内容	関係部署
校長のリーダーシップによる特色のある学校づくり	泉大津市の現状を踏まえて、校長のリーダーシップのもと、地域の実情や学校の実態等を踏まえた具体的な教育目標を設定するとともに、その実現に向けて教科等横断的な視点をもちつつ、学年相互の関連を図りながら、教育内容等を組織的に組み立てます。	指導課
教職員の働きやすい環境づくり	教員は校務支援システムの有効活用や教材のデータベース化などに積極的に取り組み、業務の効率化を図ることで、教職員の多忙の解消につなげ、子どもと向き合う時間を十分に確保し、学校教育の質の維持・向上につなげます。	指導課

施策（２） 子どもが安全に過ごせる教育環境を整備します

主な取組

重点取組	内容	関係部署
自分の身を守る安全・交通・防災教育の推進	犯罪・事故などから子どもの命を守るため、安全教育や実践的訓練（不審者対策としての防犯訓練）等を行います。 子どもが犯罪被害や交通事故にあわないため、子ども自身が正しい知識の獲得に向けた教育の充実を図ります。	指導課

方針4 まち全体が「学びのキャンパス」として市民の人生を豊かにする学びやつながりを生み出します

施策（１） 学校と地域に暮らす人が力を合わせて学校の運営にかかわり、豊かな学びの場づくりに取り組みます

主な取組

重点取組	内容	関係部署
児童生徒・地域との協働による放課後の体験や学びの機会の拡充	<p>子どもが放課後、自宅以外でも安全に遊んだり学んだりできる場を確保するため、「放課後児童クラブ（仲よし学級）」「放課後こども教室」、部活動の地域展開も含めた、子どもの居場所づくり、体験・学びの場の充実に努めます。</p> <p>また、放課後の居場所や体験の場においても、地域団体との連携を図りながら、児童生徒との交流や多様な体験や学びの機会を提供します。</p>	スポーツ青少年課 指導課
新しい時代の学びを実現する「地域交流ゾーン・エリア」の充実による多彩な学習の機会や場の提供	<p>新しい時代の学びを実現する学校施設をめざすとともに、令和4年度に策定した「泉大津市教育施設再編計画」に基づき、市内小中学校の特別教室等、地域住民が社会教育活動等で利用可能な「地域交流ゾーン・エリア」として活用し、地域と学校の連携を強化し、地域の大人もその知識や経験を活かして学校とともに子どもの学びに関わる仕組みをつくりまします。</p>	生涯学習課
コミュニティ・スクールの推進	<p>コミュニティ・スクールの取組を中心に、学校と保護者・地域が「めざすこども像」を共有し、その実現に向けた取組の推進を図ります。</p> <p>また、「学校運営協議会」をはじめとした地域や保護者の方々と学校経営について熟議を重ねることを通して、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」をめざした地域住民との関係づくりの推進を行うとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた日常の教育活動における地域との関わりについても教職員の理解を深めるなど、地域学校協働活動に向けた取組の充実に努めます。</p>	教育政策課 指導課 スポーツ青少年課 生涯学習課

施策（２） まち全体があらゆる文化やアート、スポーツで“あふれだす”取組を推進します

主な取組

重点取組	内容	関係部署
市民による主体的な文化芸術活動でにぎわうまちづくり	<p>市民の主体的な文化芸術活動を推進するため、ジャンルを問わず自分の好きなアートに触れられる「まちなかアートフェス」などの文化芸術振興事業を通じて、鑑賞や参加機会の提供を行うとともに、多くの市民が交流・自己実現できるまちづくりに努めます。</p> <p>ブンカミーティングは、地域の文化芸術に携わるあらゆる世代をゆるやかにつなぐ対話や仲間づくりの場であると同時に、自分たちの好きな活動や実行したいアイデアについて「どうすれば実現できるのか」を学ぶ場として運用することで、市民の主体的かつ協働的な文化芸術活動を生み出すプラットフォームをめざします。</p>	生涯学習課
地元の身近なアスリートとの交流による地域スポーツの活性化	<p>総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会や地域のスポーツ活動団体と連携して、市民のライフステージに応じて誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備し、地域や学校における子ども、若者、高齢者の体力とスポーツ実施率の向上をめざします。</p> <p>また、総合体育館をスポーツの拠点として、地元のアスリートと連携し、スポーツの指導だけではなく、スポーツを生かした地域活性化の取組を推進します。</p>	スポーツ青少年課
まち全体で好きな本にいつでも出会える環境の充実	<p>シープラを中心拠点とし、まちのさまざまな場所で市民が必要なときに本に触れ、自ら学ぶ機会が得られるよう、学校・地域・家庭などと連携し、市全体を図書館に見立てた「まちぐるみ図書館」を拡充します。</p> <p>併せて、シープラと学校図書館が連携して子どもの読書活動を推進します。</p>	生涯学習課

施策（３） 市の歴史や文化財を学ぶ機会を創出し、地域を大切に思う心をはぐくみます

主な取組

重点取組	内容	関係部署
市の歴史を楽しく 学び未来につなげる	文化財を地域の財産として継承し文化財を通じた豊かな体験を多くの人に届けるために、文化財の公開や出前講座などの取り組みを進めます。併せて、インターネットを利用したデジタルアーカイブ「ORIAM デジタルヒストリー」を広く周知するとともに学校の授業づくりに活用する取り組みを進めます。	生涯学習課